

## 授乳婦への乳酸菌・ビフィズス菌投与による 母乳成分への影響を確認 第10回 日本食品免疫学会にて発表

ビーンスターク・スノー株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：平田公孝）は、授乳に乳酸菌やビフィズス菌を摂取させると、母乳中の免疫成分の1つである「TGF- $\beta$ （ティージーエフ ベータ）」を増加させることを明らかにしました。

この研究成果につきまして、10月16日、17日に開催される日本食品免疫学会 10回学術大会（会場 伊藤謝恩ホール、東京都文京区）においてポスター発表いたしますので、ご案内申し上げます。

### ◆研究発表概要

演 題 名 授乳婦への乳酸菌・ビフィズス菌投与による母乳成分への影響  
発 表 者 ○福留博文<sup>1</sup>、渡辺汐美<sup>1</sup>、中埜 拓<sup>1</sup>、石丸かよ子<sup>2</sup>、中尾篤人<sup>2</sup> ※ ○は演者  
1. ビーンスターク・スノー株式会社 開発部  
2. 山梨大学医学部 免疫学講座  
発表日時 10月16日(木)、17日(金)  
発表形式 ポスター発表

### ◆研究発表内容の要約

#### ○試験背景

母乳には赤ちゃんをアレルギーから守る力があり、そのひとつがTGF- $\beta$ というたんぱく質によるものと考えられています。

近年、母乳中のTGF- $\beta$ 量とその母乳を飲んでいた子供のアレルギー発症率が関係することが報告されています※<sup>1</sup>。また母親が複数の乳酸菌を摂取すると、その母乳を飲んでいた子供のアレルギー発症率が低いことが報告されています※<sup>2</sup>。

これらの知見を参考に弊社では、山梨大学医学部免疫学講座と共同で、母乳を与えている母親を対象とした摂取試験を実施しました。

※1 Saarinen KM et al.: J Allergy Clin Immunol (1999),104,1093

※2 メタアナリシス解析結果 Pelucchi C et al.: Epidemiology (2012),23,402

○方法

医師の診断によるアレルギー歴のある産後 1 か月の母乳哺育の母親に対し、3 種類の乳酸菌（*B.longum*、*L.casei*、*B.coagulans*）を含むサプリメント（試験食）を 2 か月間摂取していただき、母乳中のTGF-β量について、サプリメントを摂取しない群との比較を行いました。

○結果

母親が複数の乳酸菌を摂取することによって母乳中TGF-β量が有意に増加することを確認いたしました。

◆学会開催概要

日本食品免疫学会 第10回学術大会

会 期 平成26年10月16日（木）～17日（金）  
会 場 伊藤謝恩ホール 東京都文京区本郷7丁目3-1  
大 会 長 上野川修一先生（東京大学名誉教授）

【企業情報】

商号：ビーンスターク・スノー株式会社（Bean Stalk Snow Co.,Ltd.）

設立：平成14年8月7日

代表者：代表取締役社長 平田公孝

URL：<http://www.beanstalksnow.co.jp/index.html>